

平成 26 年度

事業報告及び法人会計収支計算書



社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

も く じ

①	平成 26 年度事業報告	1 頁
②	// 財務諸表に対する注記（法人会計）	27 頁
③	// 資金収支計算書（第 1 号の 1 様式）	29 頁
④	// 資金収支内訳表（第 1 号の 2 様式）	32 頁
⑤	// 法人拠点区分資金収支明細書（別紙 3）	36 頁
⑥	// 事業活動計算書（第 2 号の 1 様式）	39 頁
⑦	// 事業活動内訳表（第 2 号の 2 様式）	43 頁
⑧	// 法人拠点区分事業活動明細書（別紙 4）	47 頁
⑨	// 貸借対照表（第 3 号の 1 様式）	49 頁
⑩	// 貸借対照表内訳表（第 3 号の 2 様式）	50 頁
⑪	// 財産目録（別紙 5）	51 頁
⑫	// 監事監査報告書	53 頁

平成26年度 事業報告（概要）

社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

少子・超高齢社会となり、地域社会の変化、地域連帯感の希薄化が進み、それを補うための福祉サービスの需要はますます多様化し、福祉課題から生活課題へと広がりが公助のみで依存することなく、住民自らが課題に取り組み共に支え合う地域づくり（共助）が必要不可欠となってきています。

四万十市を取り巻く状況は、上記と同様であり高齢化率も32.8%となり、地域の相互扶助機能が弱体化しており、この喫緊の課題解決に向けた取組が必要となっております。

このような状況の中、平成24年度から四万十市が始めた「健康・福祉地域推進事業」を基軸に、地域に出向き組織の立ち上げや側面的な支援を行い、地域の課題や生活ニーズへの対応・新たな支え合いの仕組みづくりを関係機関と協働しながら事業に取り組ましました。この取組により、今まで以上に地域との関わり深くなり、地区からの情報なども入ってくるようになりました。

また、四万十市地域福祉活動計画も4年目が経過し、次期活動計画も視野に入れながら「人と人がつながる笑顔あふれる四万十市」の実現に向けて、地域住民や関係機関と連携協働しながら地域福祉の推進に努めました。

なお、本会の経営状況は大変厳しさを増しており、職員の処遇等一定確保しながら、給料表などの見直しも含め市との協議を行い対応していきたいと考えています。

以下、平成26年度の事業計画の重点目標に沿って報告します。

重点目標

- ① 地域福祉の推進
- ② 総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進
- ③ ボランティアセンター等の充実と福祉教育の推進
- ④ 介護保険事業等在宅福祉サービスの充実
- ⑤ 住民参加による福祉のまちづくり実現の取り組みと組織の基盤整備

①地域福祉の推進 地域福祉事業・健康福祉地域推進事業

地域福祉を推進するため、地域福祉コーナーデザイナーが地域へ出向き課題解決に向け、関係機関と連絡調整しながら個別対応し問題解決に努めた。
また、四万十市主管の健康福祉地域推進事業(委員会の設立や各事業の推進・支援)と旧市街地(中村39地区)を一括して、社協が中村地域健康福祉委員会の委託を受け事業を積極的に行った。
その他支え合いの講演会やブロック単位での健康福祉委員会の意見交換会・ふれあい運動会等の事業、福祉情報の発信のため、社協だよりの発行やホームページをリニューアルし情報提供に努めた。

健康・福祉地域推進事業

	24年	25年	26年
設立関係	182	119	84
介護予防関係	87	138	75
関係機関調整等	58	153	174
その他	82	154	138
合計	409	564	471

日時	場所	参加者	内容等
10月25日	安並スポーツセンター	約300名	福祉ふれあい合同運動会 第10回四万十市福祉ふれあい合同運動会を行いました。高齢者や障害者の方が運動会を通じて交流や親睦を深めました。
12月5日	大用集会所	10名	東富山地区「支えあいの地域づくり事業」意見交換会 東富山地区(8地区)の支え合いづくり事業を実施している地区の代表者や事業責任者等に参加してもらい意見交換会を実施した。
1月29日	JA中村東部出張所	6名	西富山・蕨岡地区「支えあいの地域づくり事業」意見交換会 各地区代表のみの参加で参加者は少なかったが、地域の現状や今後の課題について意見が多く出された。
2月28日	実崎集会所	14名	八東地域健康福祉委員会意見交換会 支えあいの地域づくりのみの参加では実施地区が少ないので、健康福祉委員会を実施している地区の代表者等に集まってもらい意見交換会を「実施した」。
3月8日	大用集会所	66名	中山間地域の住民同士の支え合い講演会開催 土佐清水市「元気村おのづみ」の弘田浩三さんを講師としてお招きし、「中山間地域の住民同士の支え合い講演会」を実施した。

①地域福祉の推進

地域福祉の推進(法人運営及び共同募金配分金サービスクラス区分)

《 高齢者と障害者の生きがいと健康づくり支援事業 会費収入 11,894円 共同募金配分金 140,000円 決算額 151,894円 》

《 福祉活動事業 会費収入 57,507円 共同募金配分金 100,000円 決算額 157,507円 》

今年度特に力を入れたのは高齢者や障害者等問題を抱えた世帯への訪問活動である。認知症、寝たきり、難病、社会への不適応、引きこもり、高齢期の鬱等の問題と直接向かい合い、本人や家族と対話しながら、解決したり、関係機関に繋いだりした。

障害者の生きがいと健康づくり支援事業では、SST研修や書道教室、陶芸教室、ロンドンパブリック選手の井上聡氏の講演会や一日研修等に取り組んだ。これまでこの事業に参加したことなかった障害者の掘り起しもできたが、まだまだ参加が難しい障害者の方も多し。今後も訪問活動と併せて事業の充実にかを入れた。

またボランティアセンターの機能を発揮し、8月に発生した台風水害被災者の片付けや、施設ボランティア、認知症高齢者支援のサロン、西土佐小学校への読み聞かせ等へ派遣を行った。今年度、個人団体共にボランティア登録台帳の再整備も行い活用しているが、新たなボランティアの掘り起しも行わなければならない。

生きがい教室は講師や参加者の高齢化という悩みを抱えながらも順調に開催。健康づくり、生きがいづくりや仲間づくりに成果があった。

西土佐地域社会福祉大会は今年度から半日開催にしたが、内容的には講演やアトラクション等充実したものとなり参加者から好評をいただいた。他のイベントと重なり参加者が例年より少なかった反省をふまえ、来年度は呼びかけに力を入れた。

- ・サークル活動支援
要約筆記サークル赤とんぼ
- ・ボランティア活動団体支援
JAこだま会、やすらぎの会

事業名	内 容			容 容	
	内容	場所	回数	延べ人数	備 考
生きがい教室	秋桜クラブ	ふれあいホール	11	110名	
	編み物教室	福祉センター	11	75名	
	手話教室	福祉センター	10	48名	
	川柳教室	福祉センター	4	19名	
合 計			36	252名	
障害者の生きがいと健康づくり支援事業	書道教室	福祉センター	12	134名	
	講演会	福祉センター	1	30名	
	陶芸教室	福祉センター	1	12名	
	S S T 研修	福祉センター	6	62名	
	一日研修	高知市、黒潮町、四万十市内	3	51名	
訪問活動	西土佐地域内	年間	155名	実日数29日	
西土佐地域社会福祉大会	講演会	ふれあいホール	1	300名	
介護予防教室	講演会	いちいの郷、地域集会所	6	112名	
健康福祉地域推進事業に協力	支え合いの地域づくり、介護予防事業に協力	地域の集会所	141	1,860名	30地区に協力 実日数116日
ボランティア派遣	水害の片付け、傾聴、読み聞かせ、繕いもの、	被災世帯、かわせみ、紡ぎの家、グループホーム、西土佐小学校、地域	141	450名	団体登録・5団体 個人登録・117名

①地域福祉の推進
法人運営（法人運営サービス区分）

西土佐支所において、行ってきた事業及び各種団体等の会議等の状況は、以下のとおりです。

月	日	曜	開催名称	場所
4	8	火	こだま会総会	JA西土佐支所
	18	金	じんけんフェスティバル事務局協議	福祉センター
	20	日	グループホーム紡ぎの家いちい開所式	大宮
	21	月	西土佐中学校と選択授業打合せ会	福祉センター
5	8	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	14	水	俳句クラブ(個別支援)	大宮中
	22	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	29	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	31	土	高齢者・障害児和太鼓交流会	ふれあいホール
6	5	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	10	火	俳句クラブ(個別支援)	大宮中
	12	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	19	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	23	月	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	30	月	社会福祉大会実行委員会	福祉センター
7	4	金	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	23	水	俳句クラブ(個別支援)	大宮中
	31	木	高知県立大学・学生との打合せ	福祉センター
	12	火	台風水害被災者宅片付け	口屋内
8	18	月	やすらぎの役員会	福祉センター
	20	水	俳句クラブ(個別支援)	大宮中
	28	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
9	12	金	個別支援関係者打合せ会	福祉センター
	18	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール

月	日	曜	開催名称	場所
9	22	月	俳句クラブ(個別支援)	大宮中
	25	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	28	日	高知県立大学・医師との打合せ会	福祉センター
	30	火	幡多認知症家族会との交流	いちいの郷
10	2	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	10	金	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	16	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	20	月	認知症研修会打合せ会	福祉センター
	23	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	24	金	俳句クラブ(個別支援)	大宮中
11	29	水	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	6	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	7	金	社会福祉大会準備	ふれあいホール
	9	日	第35回西土佐地域社会福祉大会	ふれあいホール
1	13	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	25	火	コミュニティスクール推進委員会	西土佐中学校
	14	水	開かれた学校づくり推進委員会	西土佐中学校
	21	水	日常生活自立支援利用者との協議	あっとホーム
2	25	日	やすらぎの役員会	福祉センター
	26	月	福祉大会反省会	福祉センター
	2	月	西土佐分校との打合せ会	福祉センター
3	13	金	かわせみ長寿の祝い	かわせみ
	25	水	大阪大学教授との懇談会	福祉センター
3	27	金	やすらぎの役員会	福祉センター

①地域福祉の推進

中村地域配食サービス事業 (共同募金事業サービス区分)

調理ボランティア10名 配食ボランティア15名
 <パート1名

《 会費収入 40,000円 市補助金 704,000円 共同募金配分金 1,027,000円 利用者負担額 1,118,000円 決算額 2,889,000円 》

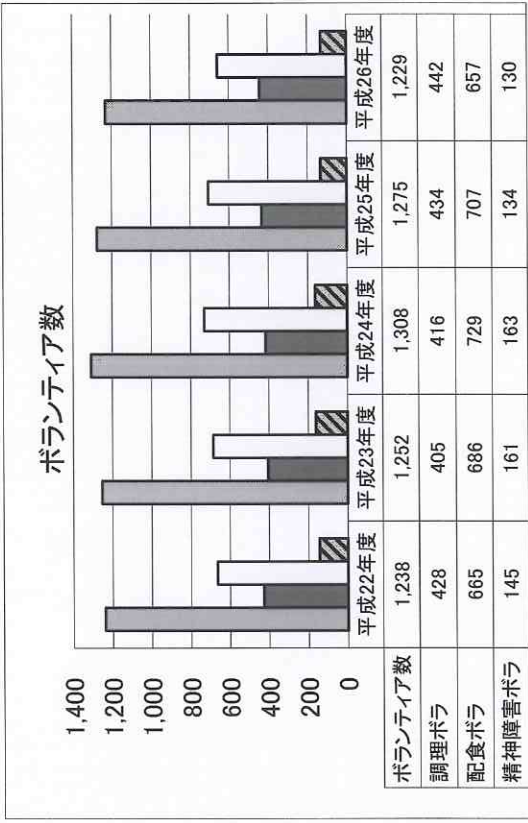
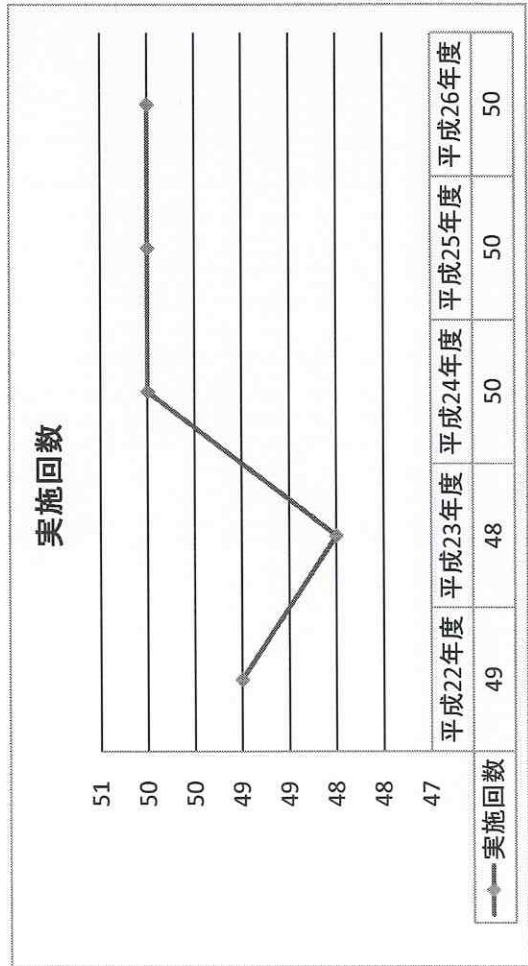
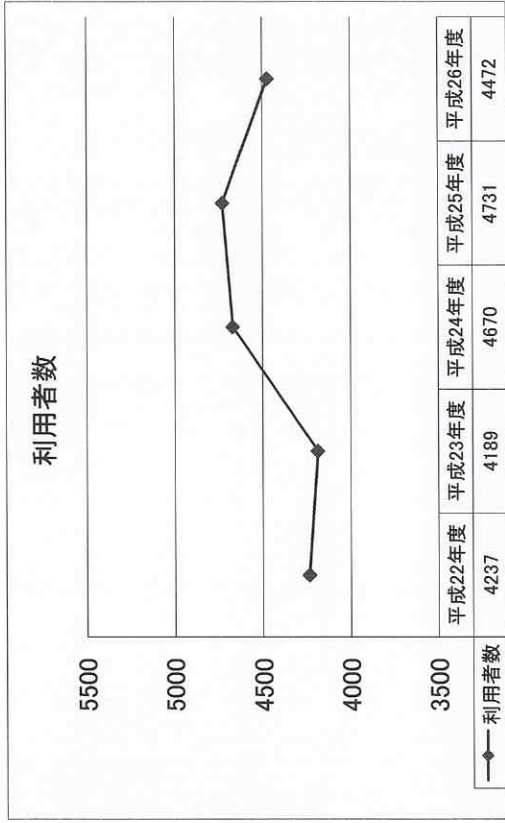
75歳以上の在宅の一人暮らしの高齢者や重度の障害者世帯に対し、毎週水曜日にボランティアの協力を得て、安否確認を目的に配食サービスを実施している。

運営委員会の結果のもとに、新規利用者について、事前情報で見守りの必要性の有無を重視した結果、申請段階での却下判定が以前に比べ増加した。長期の入院や入所、9月末の豪雨被害で主要道路が使えず、東富山区の配食が1ヶ月ほど中止になるなどの理由で利用者が減少した。

また、東富山区については、9月第1週より大用の渡辺ガソリンスタンドを中継地点とし、配食ボランティア2名体制を試行中である。当初精神障害のボランティアグループの方が対応予定であったが、上記豪雨による道路事情により、職員が交替で代行した。
 H26年3月末の登録者127名、今年度の1回の平均利用者は89.5名である。

配食サービス運営委員会 7/22 運営委員 4名 事務局 3名

- 配食サービス利用者訪問調査集計報告
- 山間部の配食ボランティアについて



調理ボラ	428	405	416	434	442
配食ボラ	665	686	729	707	667
精神障害ボラ	145	161	163	134	130

①地域福祉の推進

障害者等サービス事業（共同募金事業サービス区分）

《 共同募金配分金事業決算額 228,268円 》

朗読サービス事業

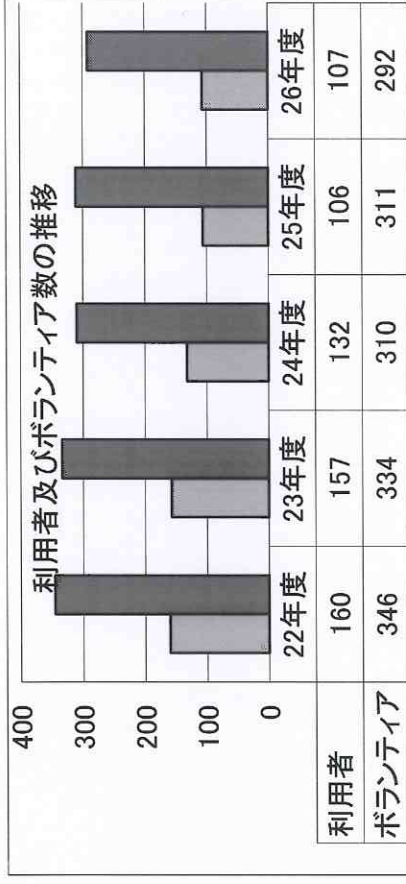
朗読ボランティアの協力により、情報不足になりがちな視覚に障害のある方々等に、毎月市広報・社協だよりをテープに録音して送付し、日常生活に必要な情報の共有化を図った。
尚、カセットテープが製造中止になっていることからCDへの媒体に変更するため、利用者宅等を訪問し状況説明を行い、理解を得たうえで、機器の変更をもちょうこととし、本会も専用の機器を購入し、平成27年度運用開始に向け試行を繰り返した。

精神障害者社会参加事業

精神障害者の社会参加を目的に、配食サービス事業のお弁当の配達を行い、社会参加のきっかけ作りとしている。当事者の体調等により変化があるので、職員がサポートをしながら行った。
(配食サービス事業でも再掲)

福祉機器貸付事業

身体機能の低下した障害者や高齢者等の生活支援の為、介護用ベッドや車椅子等を一定期間無料で貸し出し、日常生活の便を図り、生活の質の向上と併せて介護者の負担軽減に努めた。
尚、介護用ベッドについては、レンタル事業所等で対応されており、貸し出しの要望が平成23年度以降ないことから、貸出用ベッドについては、市民に公募し必要な方へ提供した。



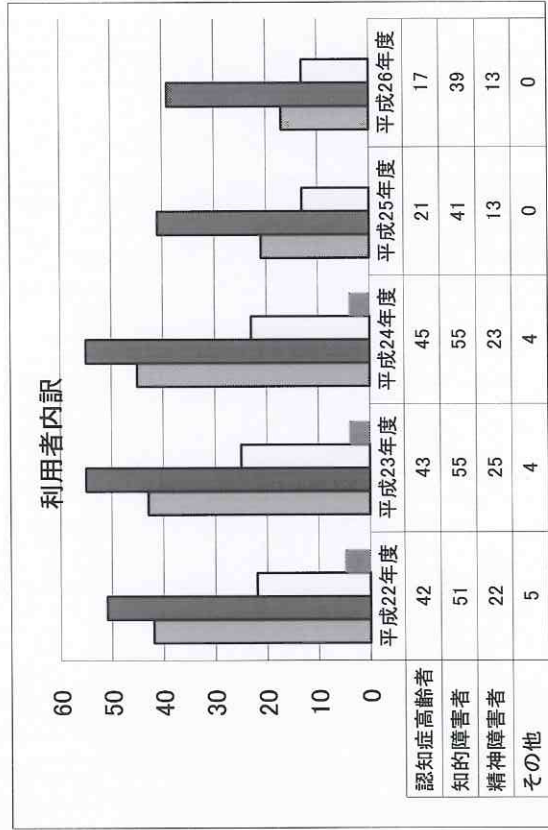
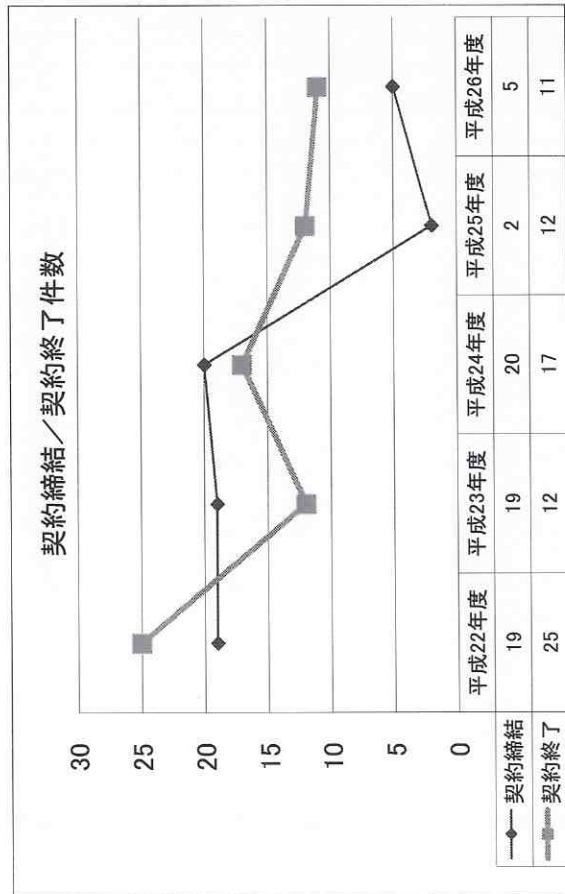
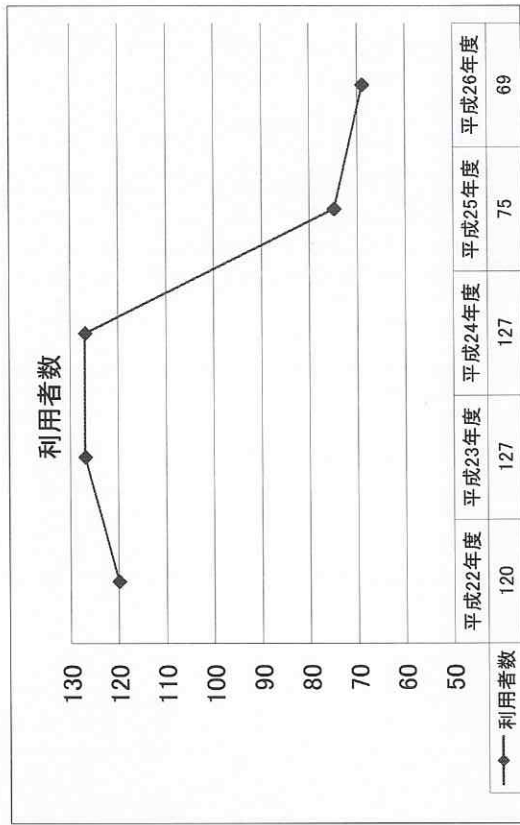
②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉サービス利用援助事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）〈職員1名〉

《 県社協受託金2,788,250円 利用料346,250円 サービス区分間繰入金2,263,117円 積立資産取崩収入1,700,000円 前期繰越金220,523円 決算額7,318,140円 》

認知症や知的障害・精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行い、地域で自立し、安心して暮らせるよう専門員1名、生活支援員8名の体制でサポートしてきた。また、法人後見の受任者も施設入所者の方で2名となっており、財産管理や身上監護を行い、権利を守る支援に勤めた。

- ・新規契約件数 5名
- ・契約終了者数 11名
- ・年度末利用者数 69名
- ・法人後見受任者数 2名



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

ふれあい相談センター事業（共同募金事業サービスマス区分）

《 会費収入 30,000円 市補助金 139,000円 共同募金配分金 220,000円 決算額 389,000円 》

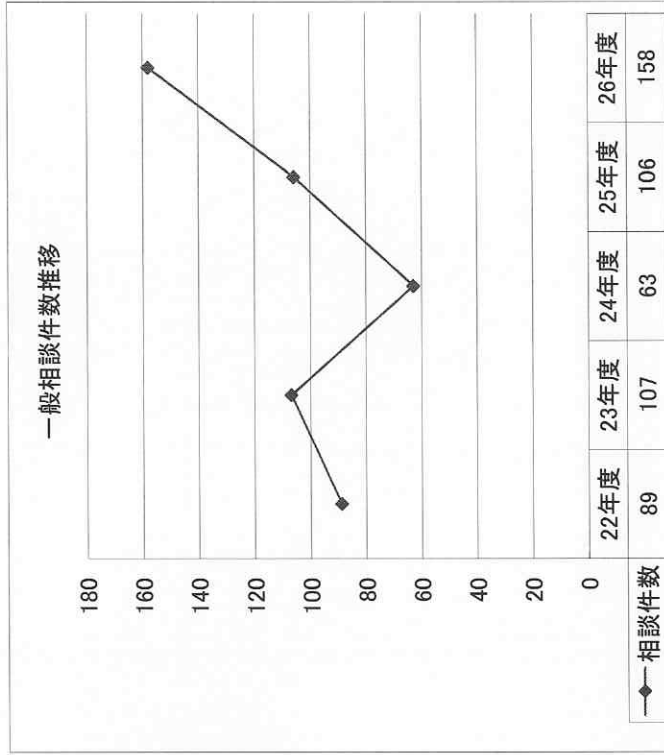
一般相談	毎週 月～金曜日	午前8時30分～午後5時15分	(四万十市社会福祉センター 本所)
法律相談	月/2回 第1・3月曜日	午後1時30分～午後3時30分	(四万十市社会福祉センター 本所)
支所相談	毎週 月～金曜日	午前8時30分～午後5時15分	(四万十市総合福祉センター 支所)

来所や電話による相談を基本に、必要に応じ訪問での対応し実施した。今年度も昨年同様に老人福祉・生活・健康問題等が上位を占めた。

項目別一般相談件数推移

	22年度			23年度			24年度			25年度		
	1 生活問題	24	1	生活問題	21	1	生活問題	23	1	老人福祉問題	23	
2 金銭問題	9	2	家族問題	13	2	精神・衛生問題	18	2	生活問題	17		
3 医療問題	6	3	精神・衛生問題	12	3	金銭問題	15	3	金銭問題	12		

26年度	
1 老人福祉問題	36
2 生活問題	25
3 健康・衛生問題	16



* 法律相談 件数 64件 (3名の弁護士が対応)

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進
小口生活資金貸付事業(貸付事業サービス区分)

《 小口資金貸付事業決算額 490,000円 》

低所得者等に対し、短期の生活資金の貸付と相談援助を行うことにより、生活の安定を図ることができるよう努めた。
 年2回の督促と併せて、長期滞納者に対して償還指導等を行った結果、元金の返済が完了したケースが2件あった。前年度よりも生活困窮者が増加傾向にあり、生活保護の繋ぎとしてほとんどのケースを生活福祉資金の緊急小口制度で対応した。

※ 資産の状況 (平成27年3月31日)

・預金残高 6,703,102円

※ 貸付等の状況

・貸付額 1,390,000円(11件)
 ・貸付残額 310,000円

・相談件数 15件
 ・貸付件数 5件
 ・償還終了件数 6件
 ・延滞利子免除件数 2件

生活福祉資金貸付事業(貸付事業サービス区分)

《 県社協受託事業決算額 3,100,598円 》

低所得者等に対し資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより経済的自立、生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り安定した生活を送れるようにすることを目的としている。
 前年度より、相談・問合せ件数は約370件増加した。また、申請件数も7件増えた。

【平成26年度貸付等の状況】

* 問合せ・相談件数888件
 * 申請件数……29件(合計3,060,000円)
 * 貸付件数……25件(合計2,776,000円)

(内訳) 福祉費 5件 1,832,000円
 緊急小口資金 20件 944,000円

フードバンク事業

生活に困窮し日々食に困る人々を対象に、市民の方々より食料品の寄付やフードバンク高知・セカンドハーベスタジャパンより食料品を無償で提供を受け、日々食に困る人々へ提供する事業を行っている。今年度は市民の方々より、沢山のお米の提供を受けた。

市民やフードバンク高知等から提供を受けた食料

・重量換算で年間465kg
 ・提供した人数年間 延べ67名

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度との比較 H26-H25
貸付総件数	19	11	8	8	11	3
貸付総額	2,255,000	1,405,000	955,000	1,100,000	1,390,000	290,000
当年度貸付件数	6	2	3	3	5	2
当年度貸付額	550,000	200,000	250,000	300,000	490,000	190,000
償還完了件数	10	6	3	2	6	4
債権放棄件数	—	—	—	—	—	—
償還済額	1,923,385	1,263,831	846,000	900,000	1,060,000	160,000
当年度償還額	984,385	439,831	284,000	230,000	339,000	109,000
内(延利収入)	49,385	1,831	21,000	26,000	5,000	-21,000
年度末貸付元金額	1,205,000	705,000	800,000	900,000	700,000	-200,000
年度末貸付件数	9	5	5	6	5	-1
未償還額	381,000	143,000	130,000	226,000	382,000	156,000
延滞利子額	349,839	291,331	288,594	292,324	139,895	-152,429
年度末残額(滞納含む)	730,839	434,331	418,594	518,324	521,895	3,571

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉人材バンク事業（福祉人材バンク事業サービズ区分）

〈職員1名兼務〉

《県社協受託金 3,723,000円 市補助金収入 1,047,000円 経理区分間繰入金収入 120,000円 人件費積立預金取崩 1,082,756円

雑収入 747,600円 決算額 6,720,356円 》

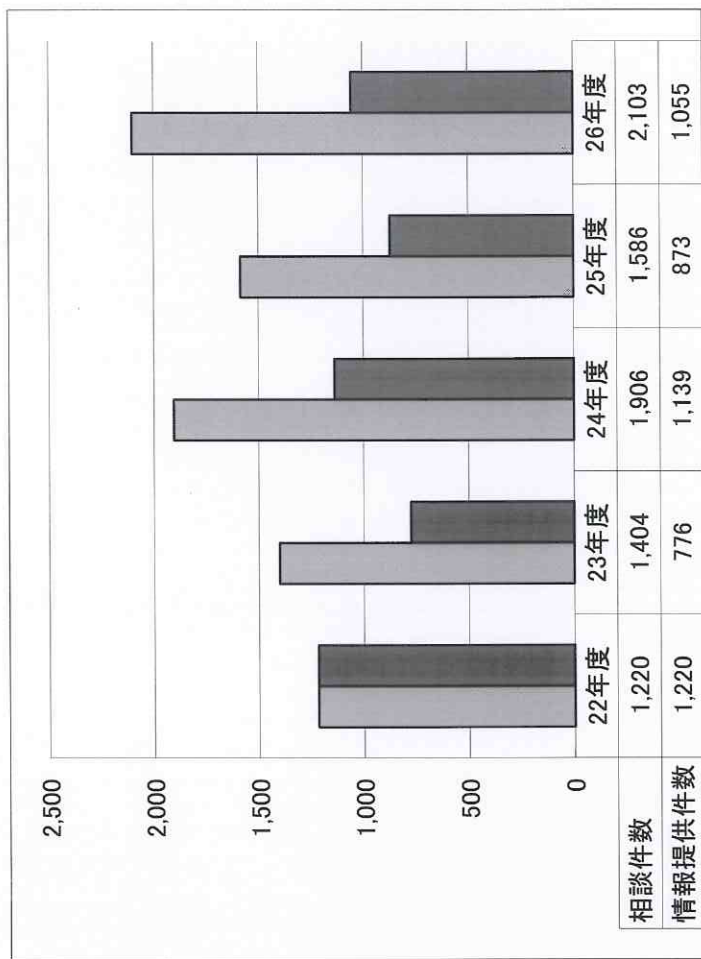
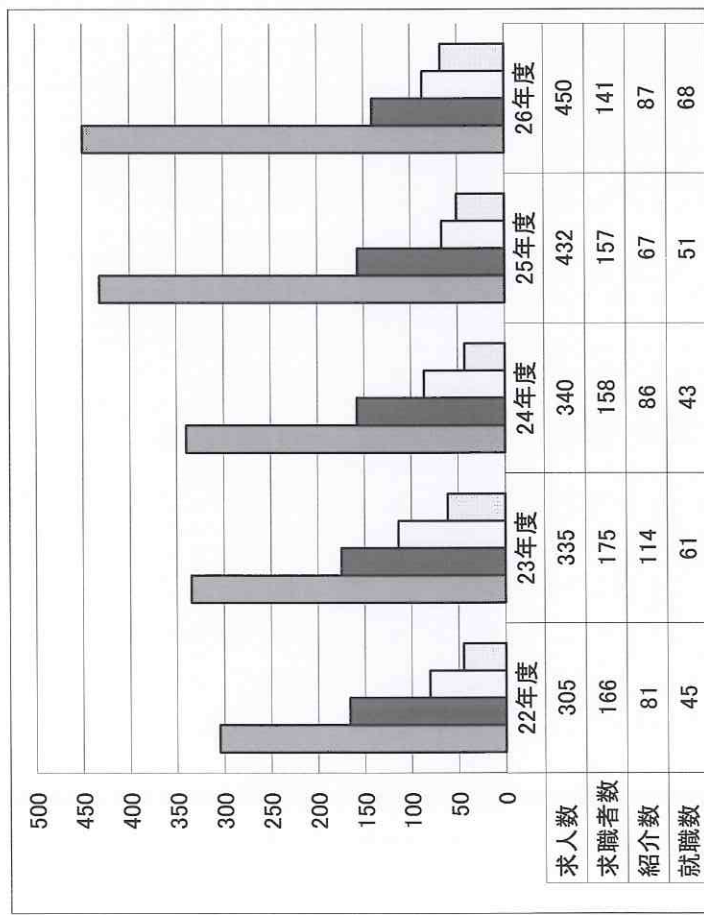
幡多6市町村を管轄区域として、求職登録者を希望する求人に応じて福祉・介護の職場へと繋いだ。平日常時窓口での相談受付と、毎月第4日曜日に日曜日相談も開催し登録者の確保と、求人情報の提供を行った。県福祉人材センター、安芸市福祉人材バンクと合同のふくし就職フェアを8月には交流プラザで、2月にはじばセンターで開催した。資格取得方法の相談や問い合わせには講習先の情報等の提供を行い、また、福祉人材養成事業としてスキルアップを目的に資格取得支援として介護福祉士と介護支援専門員の模擬試験を開催した。

今後、福祉人材バンクの定着に取組む。今後さらに福祉・介護の人材の確保と現在働いている介護職員の定着に取組む。

【福祉人材養成事業】介護福祉士模擬試験開催 2回 59名受験 介護支援専門員模擬試験開催 1回 21名受験

【啓発広報事業】社協により掲載（3市） 行政広報掲載（2市1町）

【日曜相談】12回 参加者 20名 【運営委員会開催】1回



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉・介護人材マッチング機能強化事業（福祉人材バンク事業サービス区分）〈職員1名兼務〉

《県社協受託金 3,180,893円 市補助金収入 3,335,000円 積立取崩し収入639,577円 決算額7,155,470円》

福祉・介護マッチング機能強化事業は、施設・事業所における詳細な求人ニーズの把握と求職者の適性の確認、就業後の適正なフォローアップ、学校との連携等を一体的に実施することにより、福祉・介護人材の円滑な参入と確実な定着を図ることを目的としている。

今年度新たな取り組みとして、キャリア教育支援事業が加わり、中山間就職面接会においても高知県経営者協会、ハローワーク四十等と合同開催で行い前年度の実績の比べ参加者や就職者された方の実績が伸びた。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
施設訪問件数(件)	47	56	65	136	
学校訪問件数(件)		8	21	26	
訪問日数(日)	13	15	17	78	
セミナー開催(回)	12	11	11	12	ハローワーク(1/月)
延参加者(人)		3	2	115	
*キャリア教育支援事業	146	168	118	3開催・22名	西土佐分校1.2年生
福祉職場体験者(人)	8	6	3	11	就職者5名
申込者(人)	10	9	5	12	
複数事業所連携事業 (ユニット数)	1				1ユニット=5事業所
はじめの一歩セミナー(人)			48	39	東中筋中学校1.2年生
就職説明会 (人)			8	38	13事業所参加・内定者12名

③ボランティアセンター等の充実と福祉教育の推進

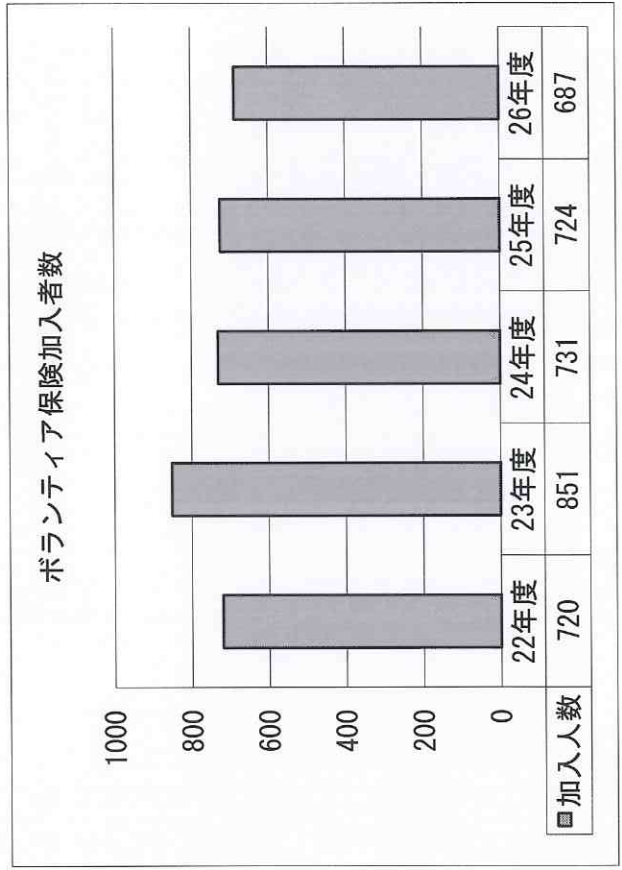
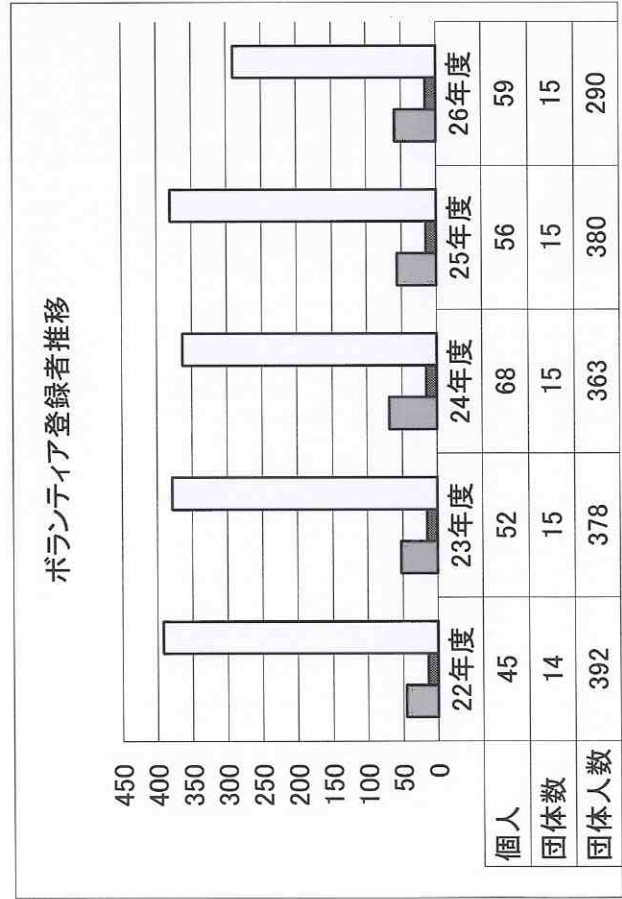
ボランティアセンター事業（ボランティア活動事業サービス区分）《職員1名》

《市補助金収入 6,636,666円 会費収入 140,000円 共同募金配分金 406,000円 県社協助成金 100,000円 雑収入 15,432円 決算額 7,298,098円》

ボランティアセンターでは、南海トラフ地震等の大規模災害の発生時に備えた災害ボランティアセンターの運営マニュアル、社協職員の初期行動計画作りを行った。策定チームを作り、基本方針・初動対応・参集基準等を検討するために4回会議を開催した。作成して終わりではなく、初期行動計画や災害ボランティアセンター運営マニュアルは、定期的に見直しを行い有事に備えたい。

また、手話奉仕員養成講座基礎編を開催する予定でしたが、受講生が少なく市と協議した結果今年度の開催は見送られ、東日本大震災被災地訪問も参加学生が少なく、被災地訪問事業も中止となった。
施設等からのボランティア要請は6回あり、ボランティア団体に相談をしてマッチングした。

- ・東日本大震災被災地訪問事業は中止。
- ・施設からのボランティア要請・・・計6回実施
実施施設 治優園、グループホームかがやき、地域密着型介護老人福祉施設光優、愛夢四万十
- ・手話養成講座基礎編・・・中止
- ・初期行動計画・災害ボランティアセンターの検討会・・・4回開催。



③ボランティアセンター等の充実と福祉教育の推進
福祉教育の推進(共同募金事業サービス区分)

《 共同募金配分金 230,000円 会費収入 20,000円 決算額 250,000円 》

市内の小・中学校の児童生徒に、ボランティア活動等の意義や福祉への理解を高め、児童生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることに努めた。また、市内の各学校からの依頼に基づき各種体験学習を行っているが、年々依頼数が増え、福祉教育に携わる機会が多くなった。

さらに、学校と地域との結びつきの深い事業に対し、助成交付要綱に基づき5校への事業助成を行うとともに事業見学も実施し、児童生徒、また教職員との交流を深めることができた。

平成26年度 福祉活動推進校(5校)
 中村西中・大用中・具同小・中村小・藤岡小

学校名	車椅子体験学習等				
	実施日	内容	学年	人数	備考
下田中学校	H26.4.23	高齢者疑似車椅子体験	1年	16名	青少年の家
八束中学校	H26.4.24	手話学習	1~3年	35名	青少年の家
田の口小学校	H26.5.2	高齢者疑似体験	5年	13名	黒潮町
東中筋中学校	H26.6.23	疑似・車イス体験	1年 2年	18名 21名	
東中筋中学校	H26.6.25	疑似・車イス体験	3年	16名	
西土佐中学校	H26.7.1	高齢者疑似体験	3年	36名	
中村中学校	H26.9.18	疑似・車イス体験	2年	59名	
	H26.9.19	疑似・車イス体験	2年	58名	
八束中学校	H26.10.6	高齢者疑似体験	2年	14名	
具同小学校	H26.10.9	疑似・車イス体験	4年	66名	
中村小学校	H26.10.17	高齢者疑似体験	5年	47名	
	H26.10.28	車イス体験	5年	47名	
中村南小学校	H26.11.13	アイマスク・車イス	3年	30名	
	H26.11.21	施設見学		30名	福祉センター見学
具同小学校	H26.12.2	手話学習	4年	66名	
大用小学校	H26.12.17	車イス体験	1~6年	28名	
利岡小学校	H27.1.22	疑似・車イス体験	3.4年	13名	
東山小学校	H27.1.26	疑似・車イス体験	4年	23名	
後川中学校	H27.1.29	高齢・障害者学習	2年	7名	一条の里で交流
東山小学校	H27.2.6	疑似・車イス体験	4年	17名	
竹島小学校	H27.2.17	手話学習	1・2年	22名	
合計				682名	

④介護保険事業等在宅福祉サービスの整備

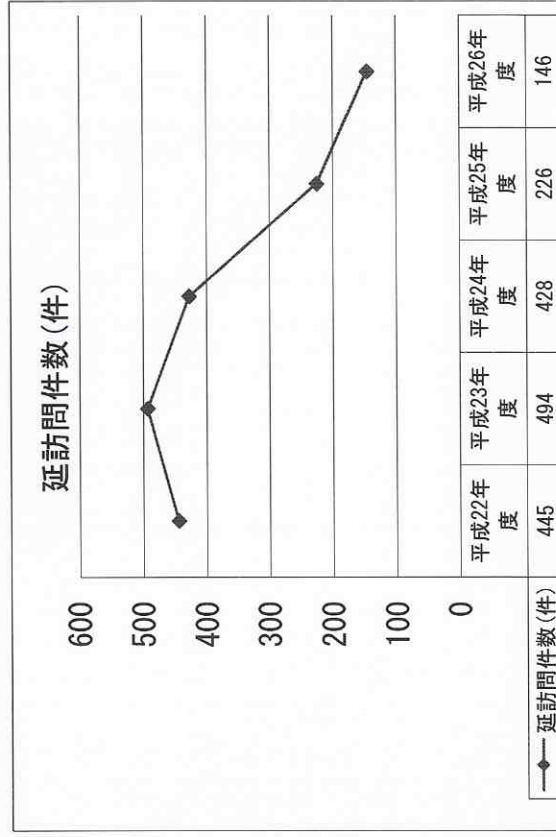
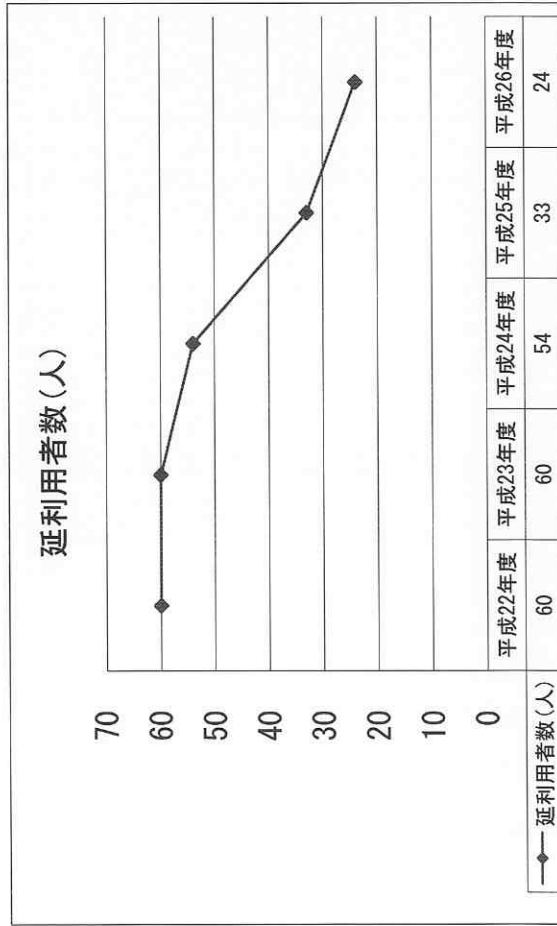
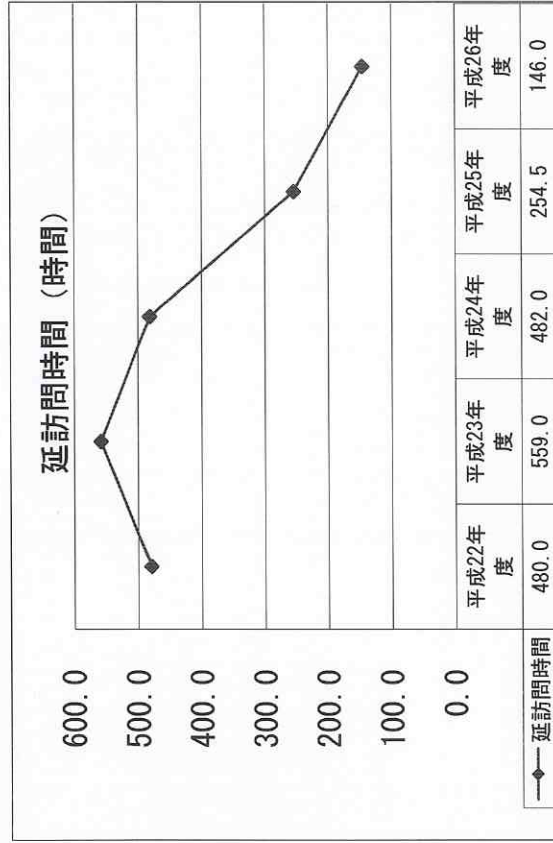
日常援護サービス事業(介護保険事業サービス区分)

〈職員1名 契約等2名 パート14名 訪問介護事業・障害者居宅介護等事業との兼業者有〉

《市受託金決算額 357,700 円》

要介護認定の結果、非該当になったが援助が必要な方に対して、市から委託を受けホームヘルパーを派遣し在宅生活を支えていくことを目的に、サービスの提供を行った。

利用者は、2名と前年度末から変わっていないが、利用時間については減少している。

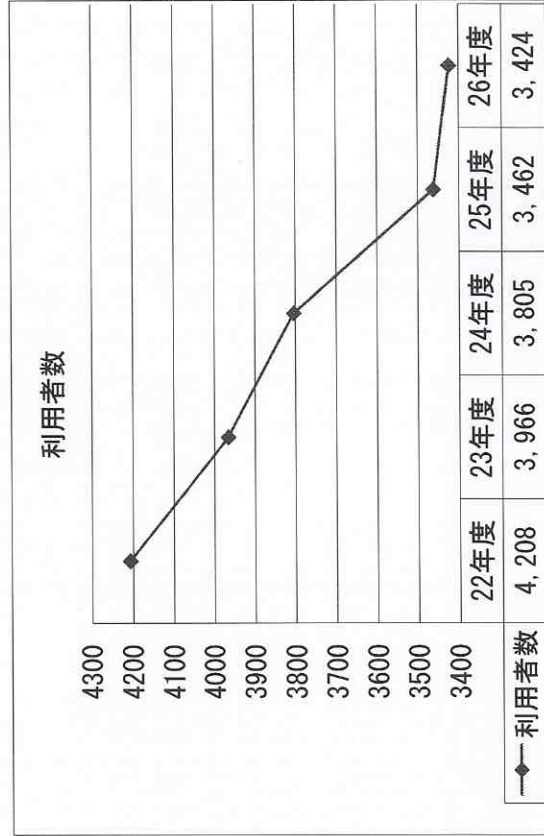
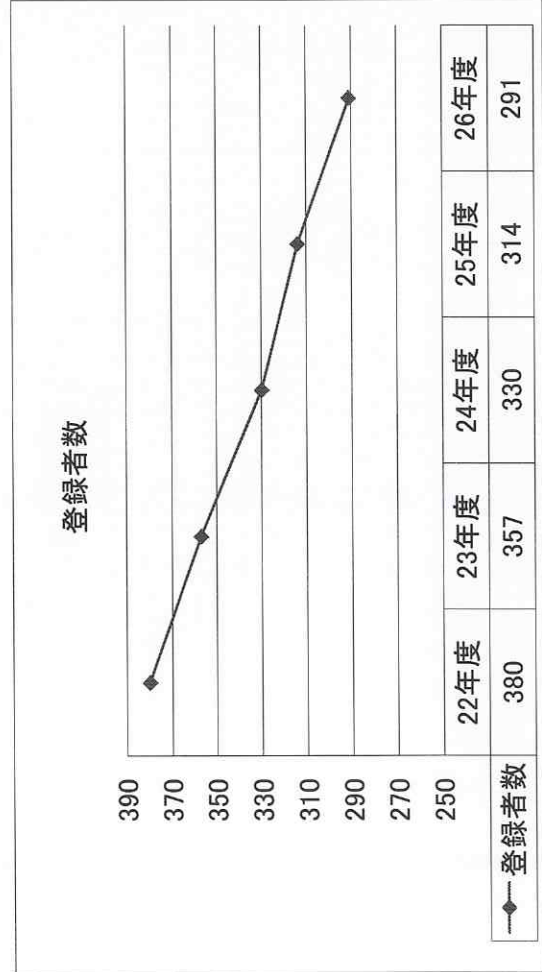
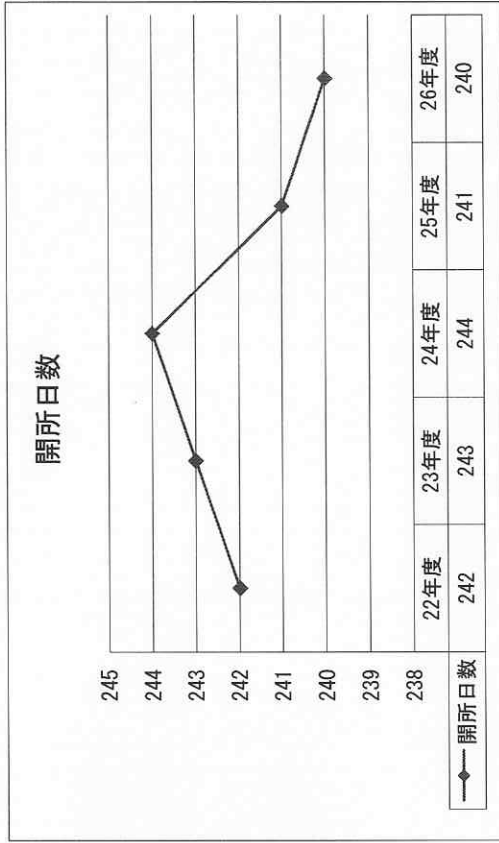


④介護保険事業等在宅福祉サービスの整備

高齢者はつらつデイサービス事業 (はつらつデイサービス事業サービス区分 <職員1名 臨時3名>

《市受託金 10,912,628 円 市補助金 7,518,000 円 利用料 1,920,800 円 雑収入 18,000 円 決算額 20,369,428 円》

介護保険非該当の利用者(75歳以上の高齢者又は65歳以上の独居高齢者)に対し、健康チェックや創作活動、レクリエーション、日常必需品の買出などのサービスを提供し、高齢者が楽しく生きがいをもてるよう事業を実施した。利用者の延人数は昨年より下まわったが、1日を楽しく過ごしてもらったために「今日は楽しかった」「ここに来るのが楽しみ」という声が聞かれた。利用者1日平均を増やすため班編成を行い、17班から14班へと編成しなおした。また、小学生との交流会では楽しいひとときを過ごし、筋力アップ体操や口腔体操でも、自らが積極的にやって体力測定では測定数値が向上している利用者が見受けられた。



④介護保険事業等在宅福祉サービスの整備

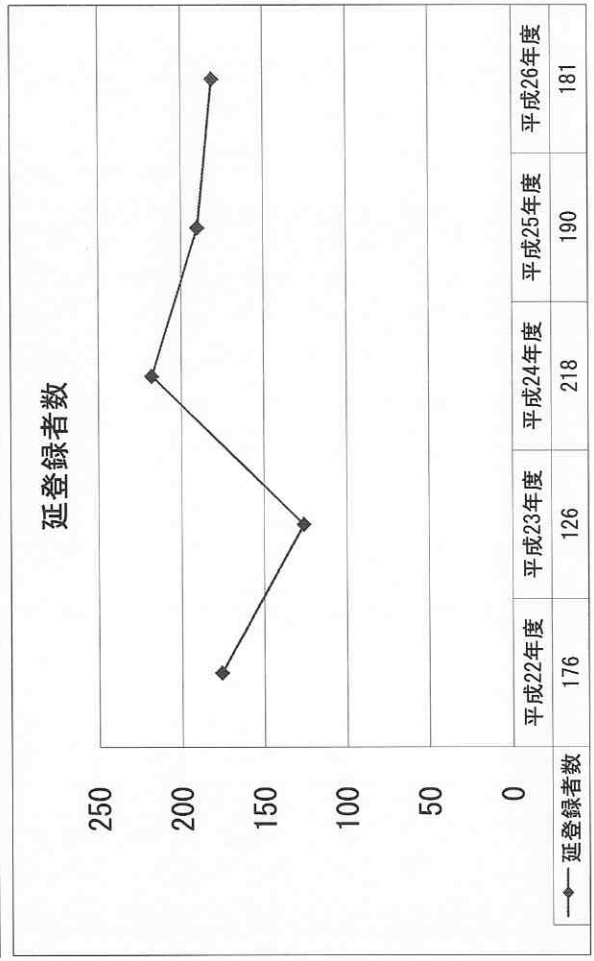
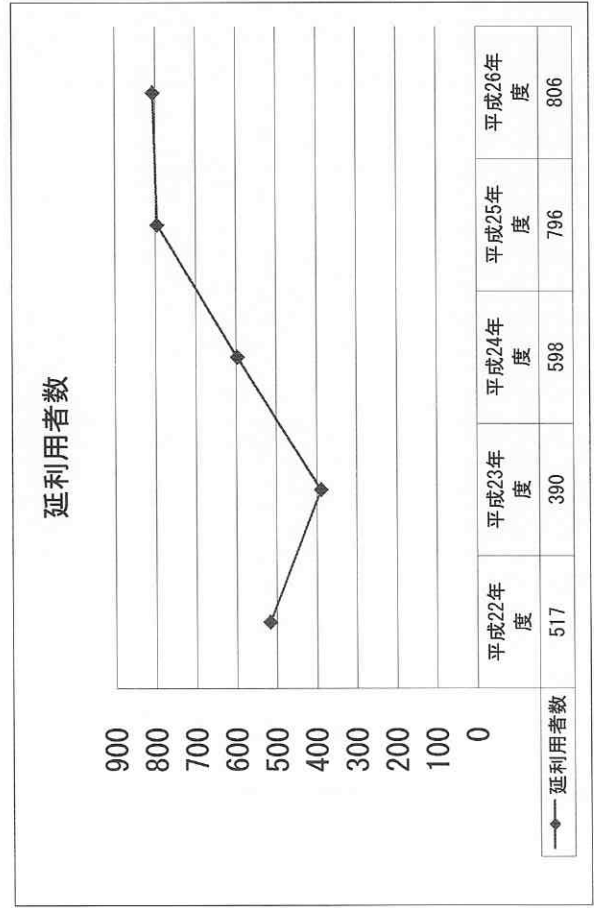
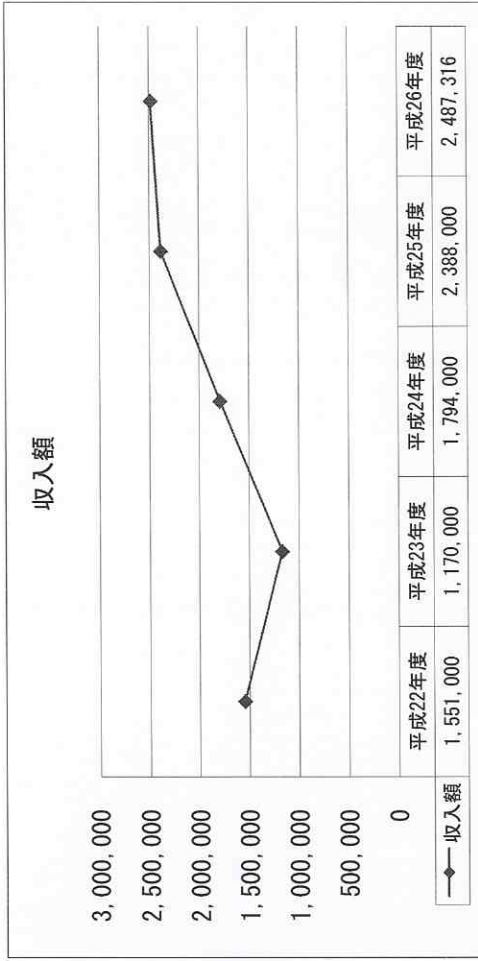
二次予防高齢者筋力アップ事業(介護保険事業サービス区分) <他業務と兼務 職員1名 パート2名>

《 市受託金決算額2,487,316 円 》

対象者は、運動器の機能が低下した方や若しくはそのおそれがある方で、運動器の機能向上をはかる事を目的とし、週2回(月・木)延82回実施した。

また、「筋力アップ体操」と合わせて口腔機能の向上に向けた「かみかみ百歳体操」やレクリエーション等も実施しており、市の歯科衛生士より口腔ケアの話等を3回行った。参加者からは「歩行時足が軽くなった、気持ちが多晴れやかになった、終了しても継続して自宅でも頑張りたい等の声が多数聞かれた。

しかし終了後の、筋力運動を継続して行く場所が地区によってはない所があり、健康福祉地域推進事業とのタイアップが必要である。



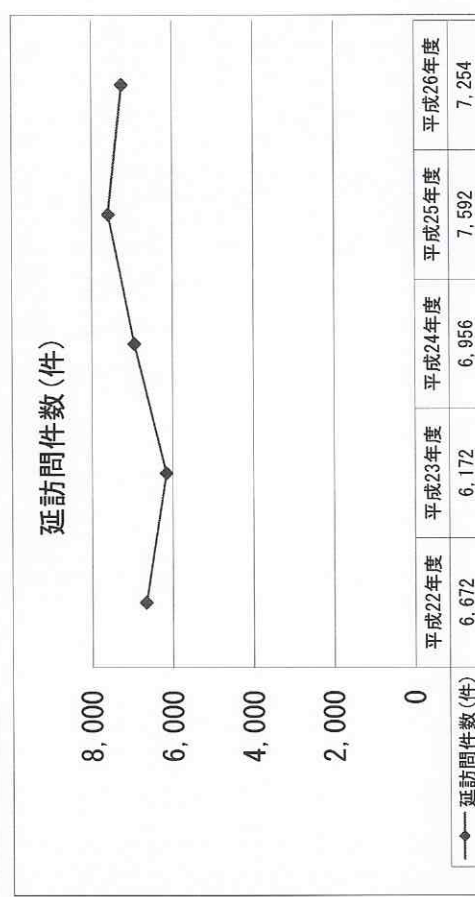
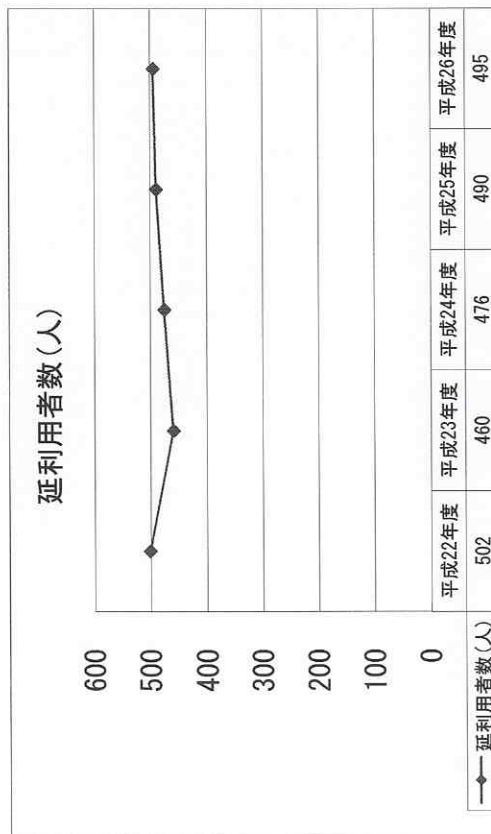
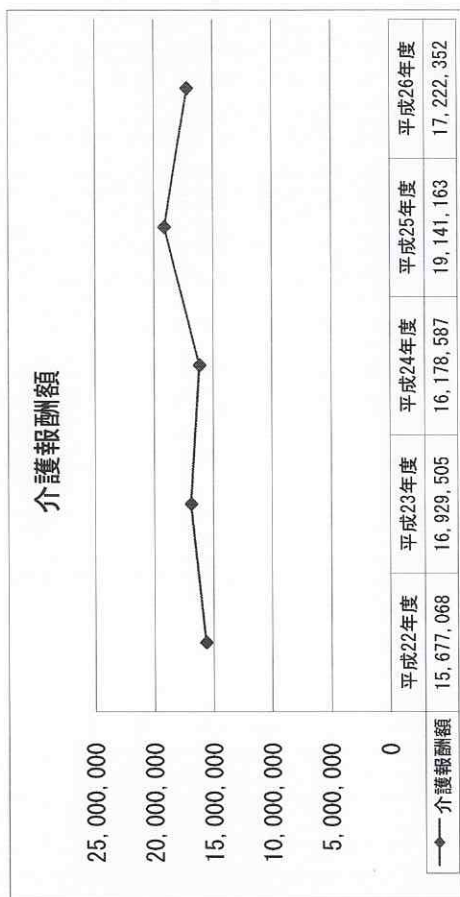
④介護保険事業等在宅福祉サービスの整備

指定訪問介護事業（介護保険事業サービス区分）

〈職員1名 契約等2名 パート14名 障害者居宅介護等事業・日常援護サービス事業との兼務者有〉

《介護報酬 17,191,110円 中山間支援補助金 10,000円 人件費取崩 4,714,354円 サービス区分線入金 2,319,000円 決算額 24,234,464円》

要介護者や要支援者に対してケアマネによるサービス計画のもと、入浴、排泄、食事等の介助その他日常生活上の援助を行っている。
新規契約者が介護給付17名、予防給付12名、計29名で、解約者が14名おり、年度末利用者数は44名となっていますが、身体介護中心の利用者が入院、死亡、施設入所の為、収入が減少となつて居る。
尚、介護保険・居宅介護給付外有償サービスは、利用者4名・件数11件・提供時間25.5時間の実績だった。

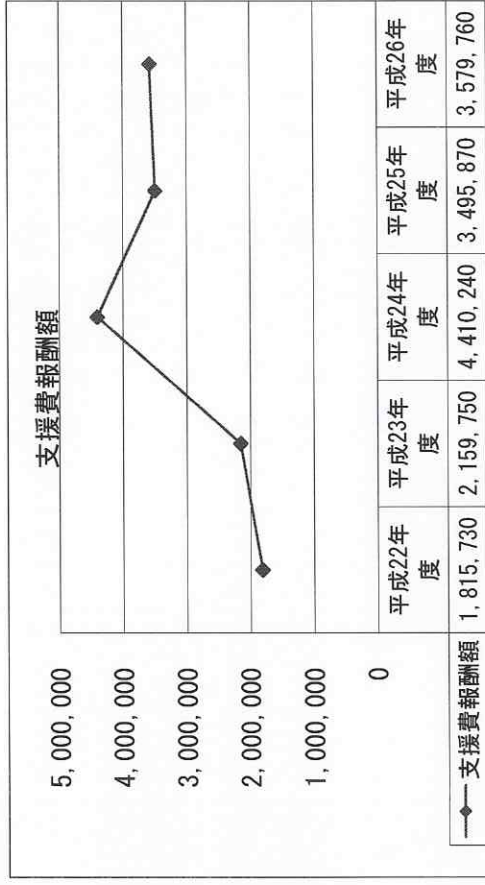


④介護保険事業等在宅福祉サービスの整備

障害者居宅介護等事業(障害福祉事業サービス区分)

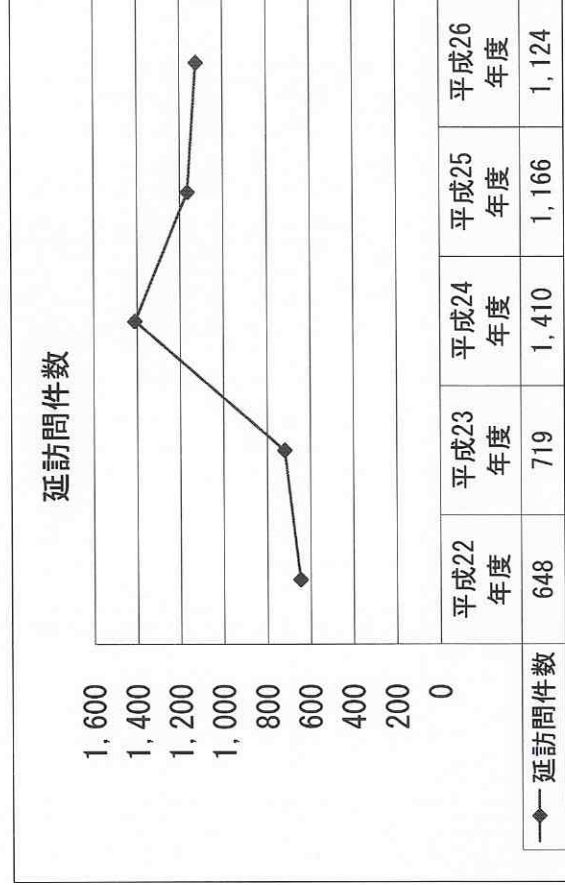
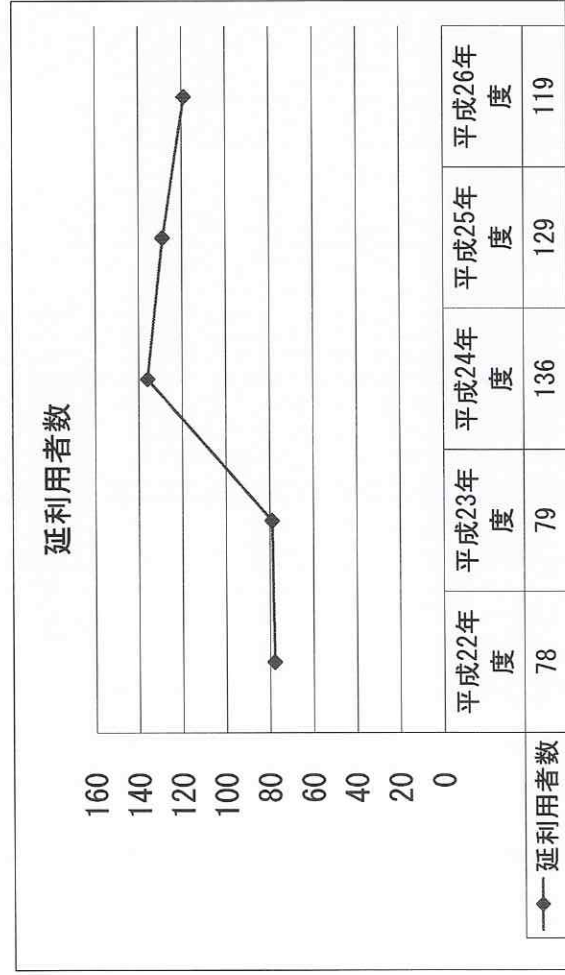
〈職員1名 契約等2名 パート15名 訪問介護事業・日常援護サービス事業との兼務者有

《 介護報酬 66,542 円 自立支援費報酬 3,579,760円 決算額 3,646,302円 》



障害者総合支援法に基づき、障害程度区分認定を受けた利用者に対し、入浴、排泄、食事の介護、調理、掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言、外出介助、その他生活全般にわたる生活支援を実施している。

今年度は新規契約が5名あったものの、解約も4名あり年度末利用者は7名と変わっていない。また、介護保険に移行した方が2名おり、その内1名は毎日の訪問であった為、実績が前年度よりも減となっている。



④介護保険事業等在宅福祉サービスの整備

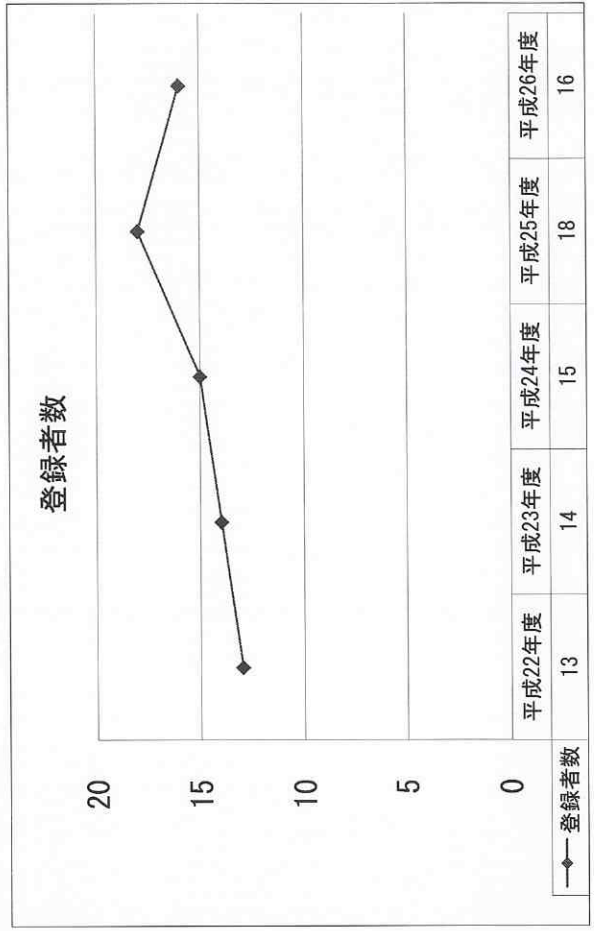
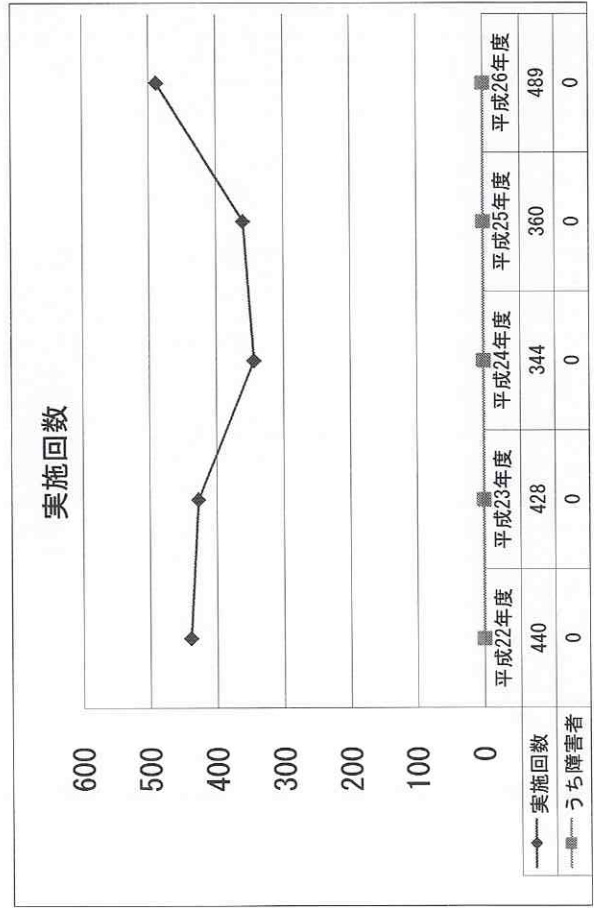
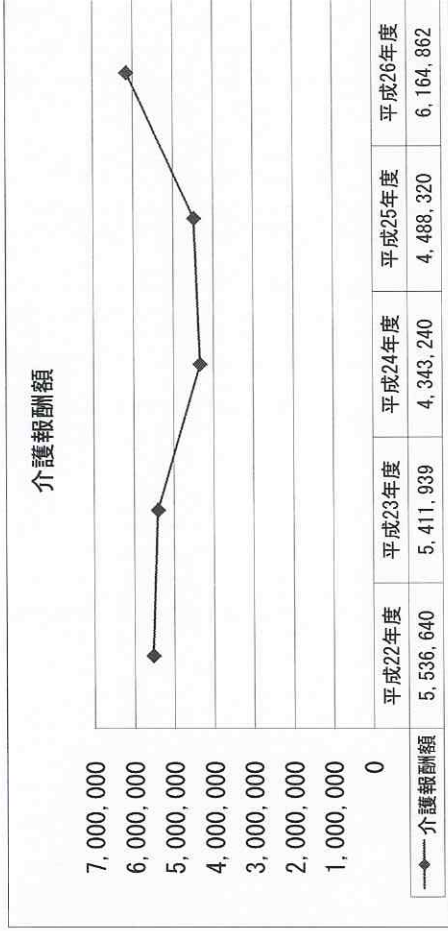
訪問入浴事業（介護保険事業サービス区分）

〈職員1名 パート2名〉

《介護報酬 6,164,862円 市補助金 889,000円 中山間支援補助金 66,000円 サービス区分間繰入金収入 544,000円 人件費取崩889,000円 決算額 8,552,862円》

介護保険の認定を受けた寝たきりの方等に対し入浴サービスを提供し、利用者のみだけでなく、介護されている家族の方々へのメンタル面での配慮等、介護負担が軽減するようなコミュニケーションやサービスの提供に努めた。

登録者は、前年度と比較して2名減だが、収入は増加している。ターミナルの利用者が多く、入院等により契約解除者は4名いた。



④介護保険事業等在宅福祉サービスの整備

訪問調査事業(介護保険事業サービス区分)

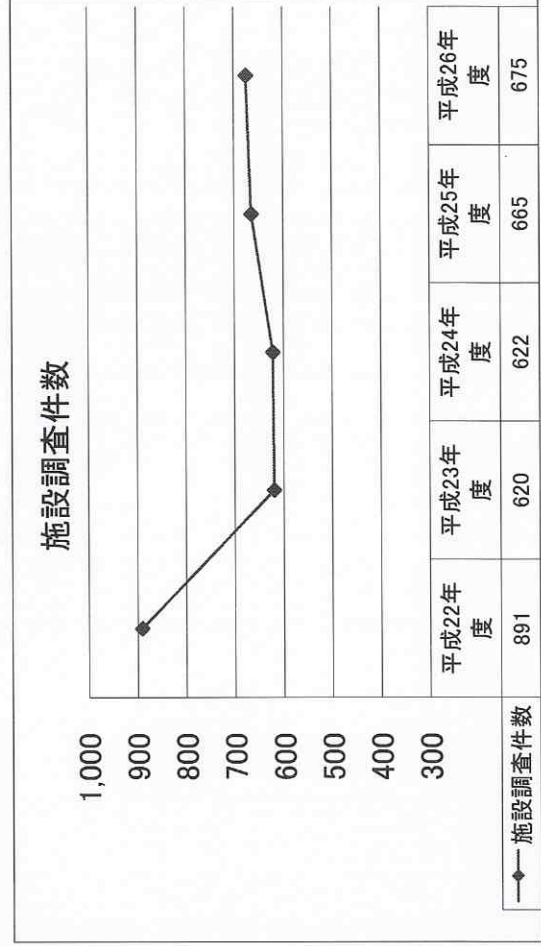
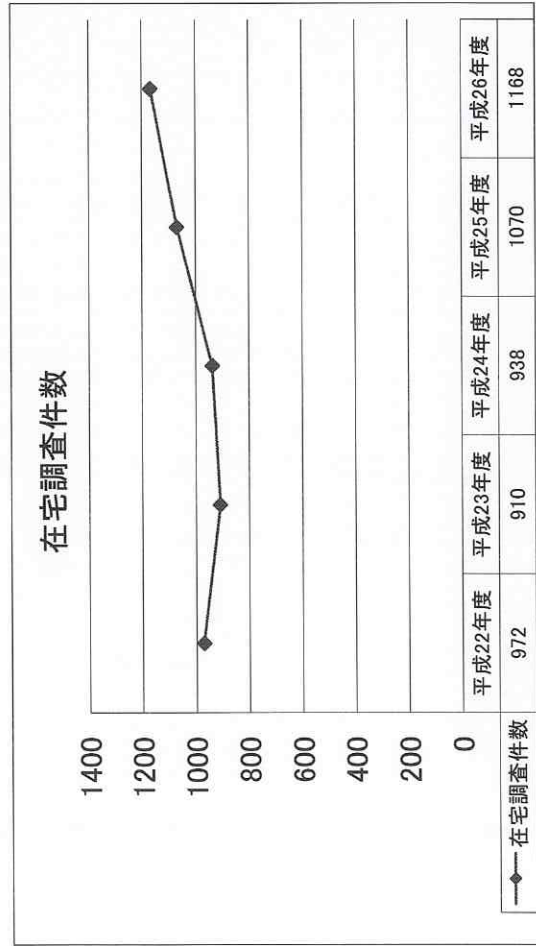
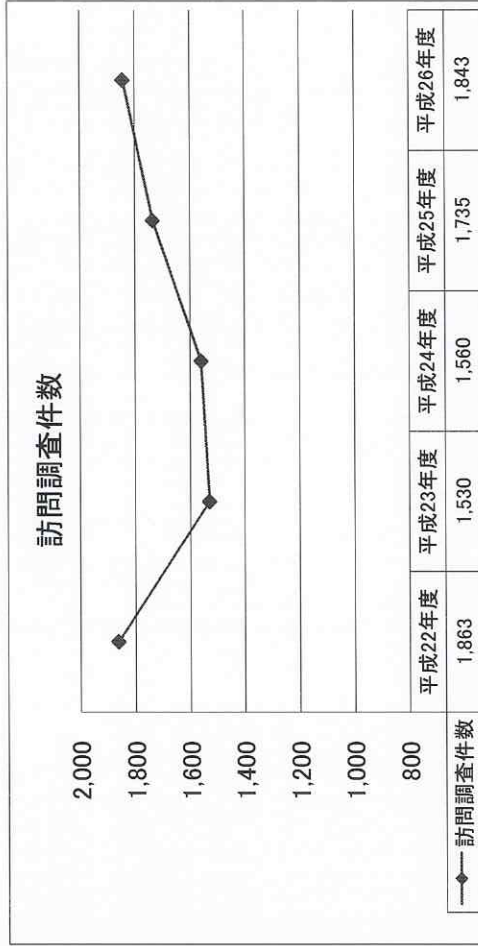
<職員2名>

《 市受託金収入9,952,200円 他市町村調査受託金収入 29,376円 積立預金取崩収入 3,752,000円 前期繰越金 542,590円 決算額 14,276,166円 》
 積立預金取崩収入 円

市からの委託により、「能力」「介助の方法」「障害や現象(行動)」といった内容を、全国一律の基準に基づき、訪問による聞き取り調査を実施している。

新規と認定期間中の区分変更については、原則市が調査を実施することになっているが、本年度については、新規を187件、区分変更を53件実施したことにより、調査件数が前年度より108件増加した。

また、他市町村からの依頼による調査は9件実施している。



④介護保険事業等在宅福祉サービスの整備

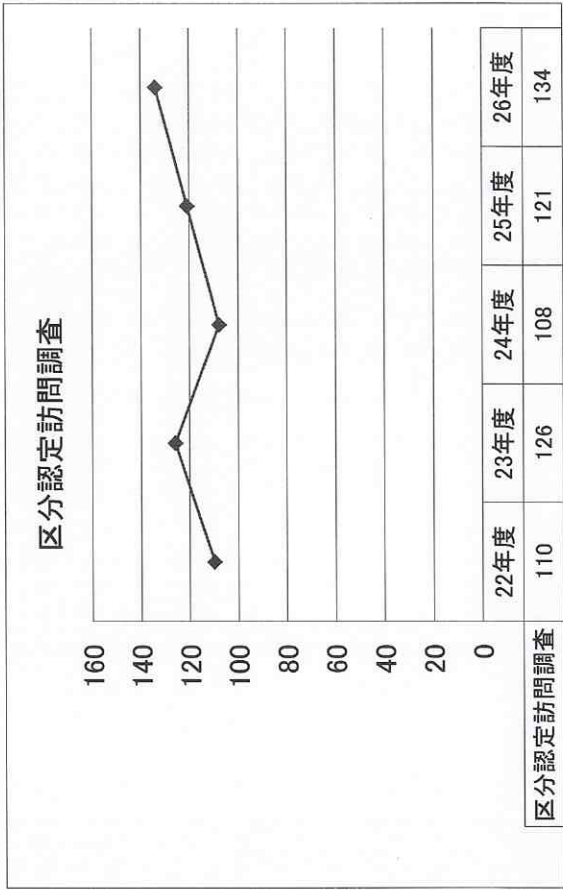
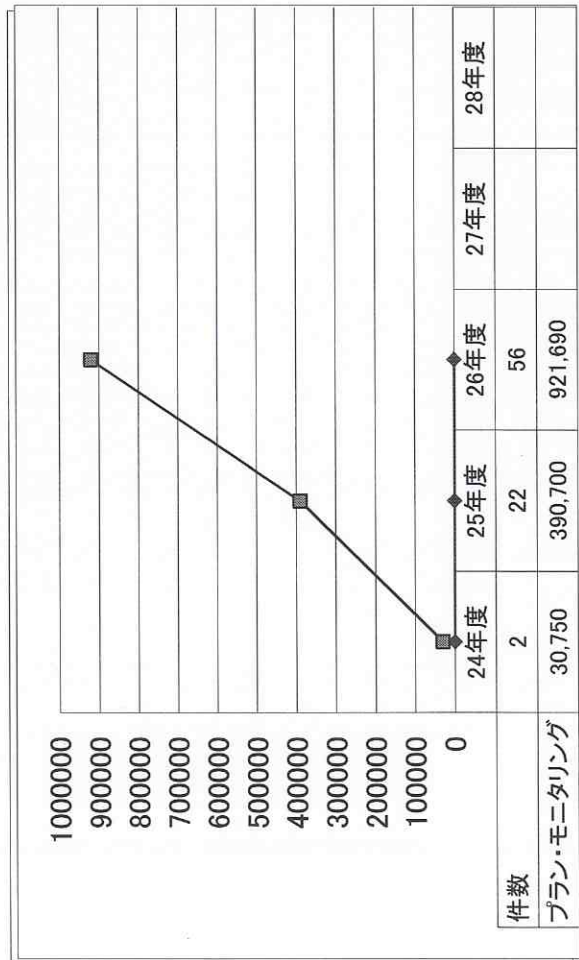
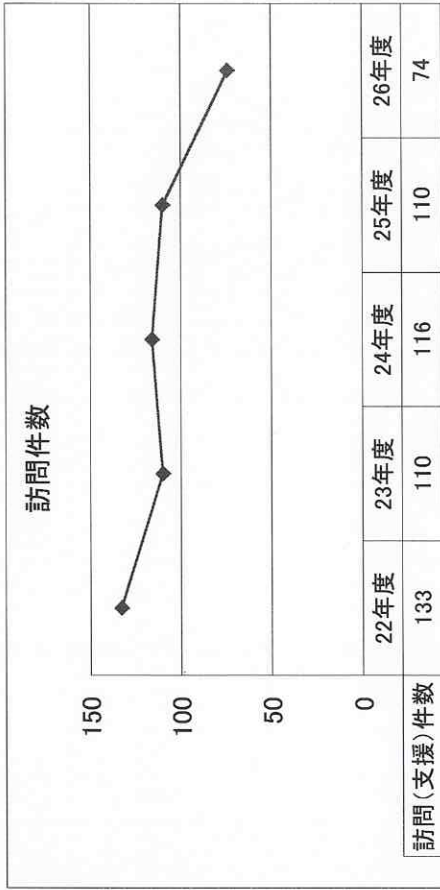
障害者支援センター事業(障害福祉事業サービス区分)

〈職員1名〉

《市受託金 5,162,291円 障害程度区分認定調査 723,600円 他市町村調査 10,800円 サービス計画報酬 921,690円 決算額 6,818,381円》

在宅の身体、知的、精神障害者宅を訪問し、生活相談に応じ、関係機関と連絡調整を行う事業を実施した。
 本年度より市役所への実績報告の様式の変更に伴い、訪問件数についてはサービス計画に伴う訪問を除く件数を計上しているため減少している。
 平成24年度より実施している相談支援事業については、はた相談支援センターねっとの宿毛移転にて西土佐地区2名の計画相談の引継ぎをはじめ契約者が急増し訪問調査等もあり大変な業務となった。

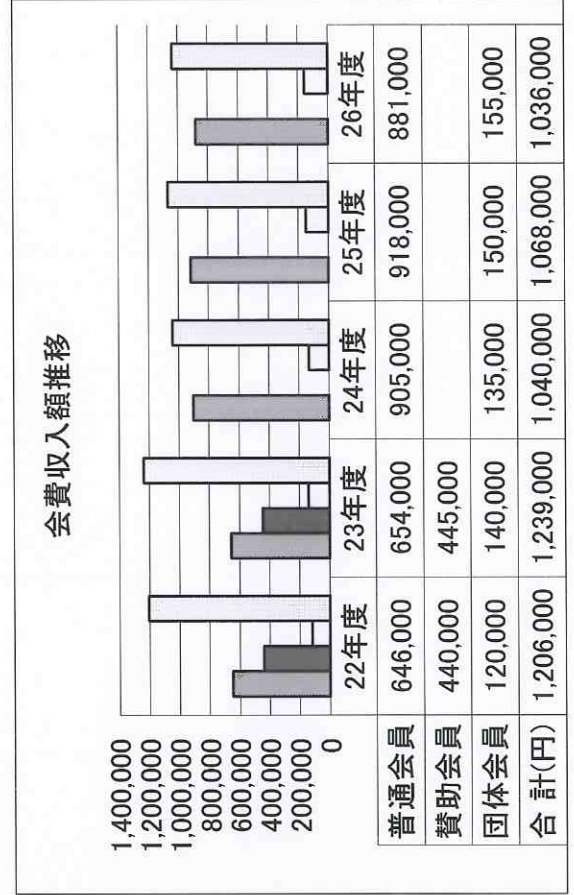
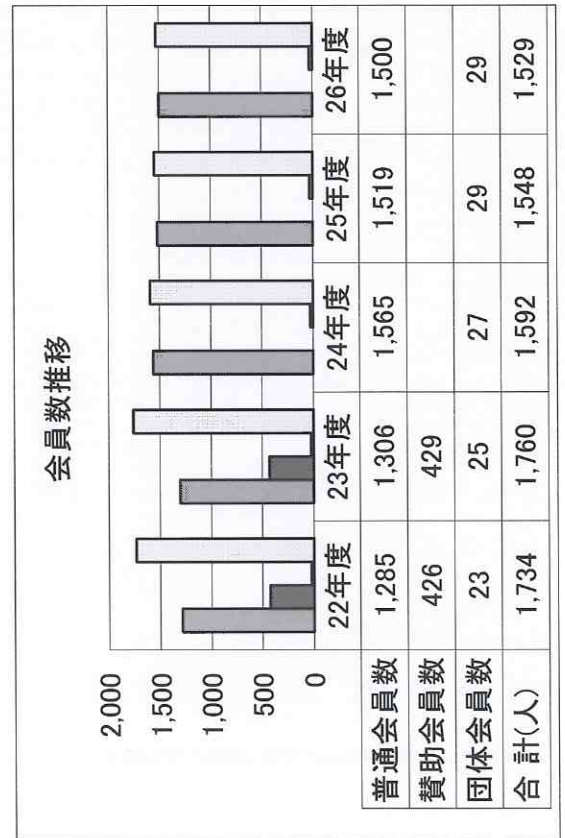
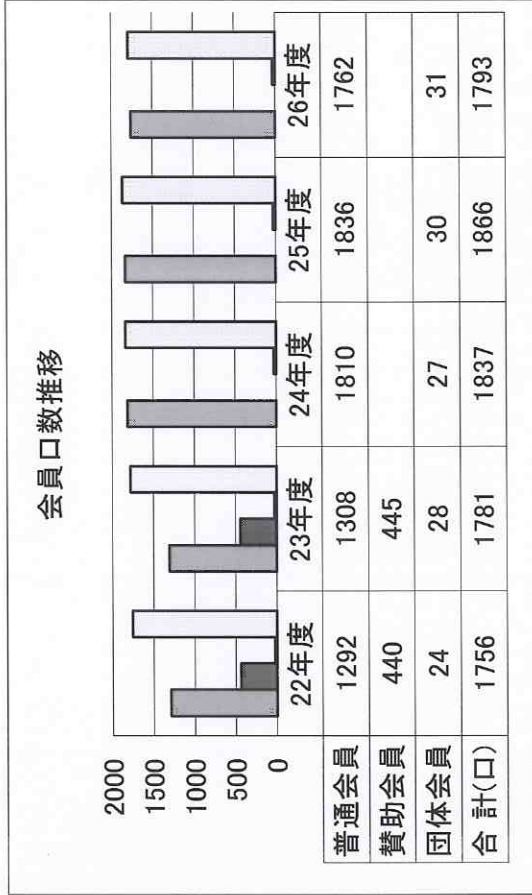
- ・平成26年度新規契約者16名
- ・介護保険移行等利用中止3名
- ・サービス利用休止3名
- ・平成27年3月末実質利用者21名



⑤住民参加による福祉のまちづくりの実現と組織の基盤整備
社協会員加入状況(法人運営サービス区分)

《 会費収入額 1,036,000円 》

民生委員をはじめボランティアや関係機関等へ協力を依頼し、また広報誌による呼びかけ等を行い会員の加入促進を行った。
しかし結果として前年度より、普通会員収入がわずかに減額した。



⑤住民参加による福祉のまちづくりの実現と組織の基盤整備

法人運営（法人運営サービス区分）

《 市補助金収入 1,334,381円 共同募金配分金 73,968円 決算額 1,408,349円 》

事業経営方針・事業予算に基づき、必要に応じて会議などを開催した。四万十市地域福祉活動計画の4年目の状況を把握するための評価検討委員会の開催や職員の資質向上のための研修会へ参加している。

※以下が主な会議の状況である。

月日	会議内容等	場所
19	【監査】監事2名・会長・事務局3名 計6名 平成25年度事業・会計監査	福祉センター
28	【第1回理事会】理事7名・監事1名・事務局6名 計14名 議案 ①平成25年度事業報告並びに一般会計決算について ②平成25年度公益事業特別会計社会福祉センター決算について ③平成26年度社会福祉事業第1次補正予算について ④平成26年度公益事業第1次補正予算について ⑤補欠による評議員の同意について 報告事項 ①福祉基金及び介護保険事業の積立金の状況並びに福祉基金を活用した事業について ②四万十市地域福祉活動計画について	"
5	【第1回評議員会】評議員13名・理事2名・監事1名・事務局3名 計18名 議案 ①平成25年度事業報告並びに一般会計決算について ②平成25年度公益事業特別会計社会福祉センター決算について ③平成26年度社会福祉事業第1次補正予算について ④平成26年度公益事業第1次補正予算について ⑤補欠による理事の選出について ⑥情報公開審査委員の選出について	"
12 15	【第2回理事会】理事8名・監事2名・事務局6名 計15名（表決書提出1名） 議案 ①平成26年度社会福祉事業2次補正予算について ②補欠による評議員の同意について 報告事項 ①職員の給与等に関する規定の一部改正について ②履修福祉地域推進事業について 協議事項 ①福祉基金の有効活用について	"
3 8	中山間地域の住民同士の支え合い講演会 会長・事務局5名 参加者66名 土佐清水市舟楫地区の取組みについて 講師 土佐清水市舟楫地区 幹事弘田浩三さん	富山地区集会所
3 18	平成26年度地域福祉活動計画評価検討委員会 委員10名 アドバイザー4名 事務局8名 計22名 協議事項 ①平成26年度の評価 ②次期活動計画について ③次期計画の策定委員について	福祉センター

月日	会議内容等	場所
3 26	【第3回理事会】理事8名・監事1名・事務局5名 計14名 議案 ①平成27年度事業経営方針及び社会福祉事業資金収支予算について ②平成27年度公益事業資金収支予算について 追加議案 平成27年度法人会計資金収支予算について ③定款の一部改正について ④評議員の同意について ⑤職員の給与等に関する規定の一部改正について ⑥事務局規程の一部改正について ⑦職員の職名に関する規定の一部改正について ⑧介護保険受介認定調査事業運営規定の一部改正について	福祉センター
	【第2回評議員会】評議員17名・理事2名・事務局3名 計22名 議案 ①平成27年度事業経営方針及び社会福祉事業資金収支予算について ②平成27年度公益事業資金収支予算について 追加議案 平成27年度法人会計資金収支予算について ③定款の一部改正について ④理事・監事の選任について	"

⑤住民参加による福祉のまちづくりの実現と組織の基盤整備
指定管理者施設運営事業(指定管理者施設サービス区分)

平成26年度 多目的デイケアセンター「一条の里」

《 市受託金収入(指定管理料)決算額 1,370,034円 》

多目的デイケアセンター「一条の里」で行っている事業については、次のとおりで各実績については前述のとおりです。

- ① 配食サービス事業
- ② 福祉サービス利用援助事業
- ③ はつらつデイサービス事業
- ④ 障害者支援センター事業(相談支援事業)

平成26年度 四万十市総合福祉センター

《 市受託金収入(指定管理料)決算額 950,777円 》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修室	13	11	10	16	12	13	15	8	4	9	7	14	132
相談室	9	9	13	8	1		1	2	1	1	1	5	51
和室	1		1	7	2	1	11	17	17	11	19	13	100
合計	23	20	24	31	15	14	27	27	22	21	27	32	283

平成26年度 社会福祉センター利用状況

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小計			利用合計	貸出可能数	利用割合				H25年度利用割合				空き室割合				
	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除			普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額		免除	普通	減額	免除
4	1	7	6	2	9	2	26	1	5	8	3	3	1	8	1	41	4	33	12	90	30	450	9.1%	0.9%	7.3%	20.0%	80.0%	8.0%	1.3%	6.7%	3.1%	19.1%	80.9%
5	3	1	3	1	8	3	29	2	5	9	1	3	4	5	47	2	26	10	85	31	465	10.1%	0.4%	5.6%	18.3%	81.7%	6.9%	0.9%	5.4%	1.5%	14.6%	85.4%	
6	3	1	11	9	1	7	25	1	6	7	3	1	2	43	3	18	19	83	30	450	9.6%	0.7%	4.0%	18.4%	81.6%	7.6%	0.4%	4.2%	0.7%	12.9%	87.1%		
7	2	3	4	2	11	3	25	1	6	7	1	3	5	5	40	2	27	10	79	31	465	8.6%	0.4%	5.8%	17.0%	83.0%	8.0%	0.9%	6.7%	2.2%	17.6%	82.4%	
8	3	4	1	6	2	6	21	2	5	3	4	1	41	11	16	1	16	1	69	31	465	8.8%	2.4%	3.4%	14.8%	85.2%	6.7%	2.2%	6.7%	1.1%	16.6%	83.4%	
9	6	8	1	9	2	6	4	22	1	2	7	2	1	6	41	10	16	18	85	30	450	9.1%	2.2%	3.6%	18.9%	81.1%	7.3%	0.4%	7.6%	2.2%	17.6%	82.4%	
10	5	5	7	1	8	7	4	23	7	4	5	8	4	12	8	3	6	52	31	465	11.2%	6.9%	5.6%	27.3%	72.7%	11.6%	8.6%	7.7%	6.0%	34.0%	66.0%		
11	17	13	7	32	4	7	30	1	20	7	4	5	16	7	10	115	25	26	184	30	450	25.6%	5.6%	5.8%	40.9%	59.1%	9.1%	1.1%	8.9%	5.6%	24.7%	75.3%	
12	5	2	2	28	7	7	18	2	10	1	6	2	3	4	64	5	19	3	91	28	420	15.2%	1.2%	4.5%	21.7%	78.3%	7.9%	1.0%	6.2%	3.6%	18.6%	81.4%	
1	11	1	10	9	1	5	3	28	4	4	6	5	1	2	3	57	2	15	22	96	420	13.6%	0.5%	3.6%	22.9%	77.1%	7.4%	5.0%	3.1%	15.5%	84.5%		
2	10	7	3	7	3	10	3	23	1	4	8	7	4	7	48	10	28	19	105	28	420	11.4%	2.4%	6.7%	25.0%	75.0%	8.6%	3.1%	4.0%	4.5%	20.2%	79.8%	
3	8	2	2	8	2	9	2	26	1	4	1	6	1	7	52	5	25	2	84	31	465	11.2%	1.1%	5.4%	18.1%	81.9%	7.1%	0.6%	6.2%	0.6%	14.6%	85.4%	
合計	73	41	38	29	134	27	92	29	75	14	77	39	63	15	54	641	111	275	151	1,178	359	5,385	11.9%	2.1%	5.1%	21.9%	78.1%	8.0%	1.7%	6.3%	2.8%	18.8%	81.2%

15.9% 2.7% 6.8% 3.8% 29.2%

- 普通 教育、福祉関係の会議、組合会議、サークル活動(体操、踊り)、法律・就職相談、宗教団体、政治団体、観光協会
- 減額 市内の福祉団体、県社会福祉協議会、県聴覚障害者協会、介護福祉士会、社会福祉士会
- 免除 市・市教委、市教育研究所等
ボランティア、福祉関係サークル、行政相談、四万十市子ども支援ネットワーク・朗読の会
会議(社協・民協・役員会・職員会議、西部三市・ハルパー、老人クラブ・四万十市身障連)事業(地区健康福祉委員会・人材バンク・共募・手話養成・推進校・運動会・日赤)ボランティア勉強会・法律相談・行政相談・災害ボランティア情報交換会・母子家庭等就業自立支援センター
学校説明会、呉服販売、営業会議、健康セミナー、民間資格養成講座

平成26年度 社会福祉センター利用状況(免除)

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小計			合計	
	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協		
4	2		5		4	5			1		4	4			1	7	2	9	22	33
5			3		5	3			2		7	1				4	1	12	13	26
6			1		6	1			1		3	4				2		9	9	18
7	2		1		2	4	5		1	2	5					5	6	9	12	27
8			1		4	4	2		2		3					4		7	9	16
9			1		4	2	2		1		4	3				1		8	8	16
10	2		5		2	4	1		1	1	5	2			2	1	7	9	10	26
11	1		6		4	4	3		1		4					7	1	8	17	26
12	1		1		4	4	3				4	2				4	1	8	10	19
1			1		4	4	1		3		3	1				2		7	8	15
2	2		1		2	4	4				5	1			1	6	6	10	12	28
3			2		5	4	4		1		4	2				7		9	16	25
合計	10		28		6	52	34		14	6	51	20			2	50	24	105	146	275

市 市教委・市教育研究所等
 団体 行政相談・(幡多広域事務組合)・幡多郡民協・朗読の会虹・わかあゆ・補導センター・身障連
 社協 ボランティア連絡協議会
 全部数える 会議(社協・民協・役員会・職員会議・ヘルパー・老人クラブ)・県社協幡多ブロック会長等意見交換会
 事業(地区社協・人材バンク・共募・手話養成・推進校・運動会・日赤)・母子支援センター・介護統一セミナー
 ボランティア勉強会・法律相談・ふれあい相談・福祉活動計画策定委員会・災害ボラ情報交換会